

大國魂神社氏子青年崇敬会 会報誌

令和4年10月1日 第1号



会長挨拶

大室 元

会員の皆様、また氏子崇敬者の皆様におかれましては、日頃より当会の活動にご理解ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

この度、「大國魂神社氏子青年崇敬会 会報誌」第一号を発行する運びとなりました。これまではインターネット上でのホームページやSNSなどを通じて情報発信して参りましたが、冊子の発行を通じてより多くの方に大國魂神社や当会の活動に興味を持って頂けたら幸いです。

さて、当会は「大國魂神社への奉仕活動を通じて、神社、神道を理解し、地域社会の発展に貢献すること」「日本の伝統文化を次世代へ継承してくこと」「会員相互の親睦を図り、大國魂神社を将来支える若い担い手達を育成すること」等を目的として日々活動しております。

武蔵国府がおかれた地、府中。その中心地に御鎮座し、千九百年を超える歴史を持つ武蔵総社大國魂神社は地域の誇りであり、先人たちが築いてくださった有形無形の価値がたくさん詰まっています。時代の流れにシなやかに適応し、神社が続く限り永劫に支え、次世代へ継承していくことが私たちに課された役割だと考えます。

当会会員の皆様はもちろん、当会の活動に興味を持たれた方々の温かいご支援、ご協力を今後も賜りたく存じます。

結成について

大國魂神社氏子青年崇敬会は、大國魂神社の祭祀の継承ならびに青少年の育成を目的として平成十五年十一月に結成されました。

青年である理由は、これから長い年月に亘って神社・地域との接触を続けていくことが可能であること、また、さまざまな活動をする際に、青年であれば軽いフットワークで既成概念にとらわれないことなど、自由な発想から活動できるのではないかということから、青年の組織として結成されました。現在は府中市全体、また市外会員も併せて四百二十余名の会員が所属し、活動しております。

当会の主な活動としましては、神社祭典への参列、境内清掃奉仕、大祓の茅の輪奉納、鎮守の森相撲大会の選手引率、軍艦多摩頭彰会奉仕、境内での甘酒・かき氷提供、研修事業等があります。

今後も青年の力を発揮し、会を発展させ、神社・地域社会に貢献して参ります。

事業報告

令和三年度総会(書面決議)

令和三年度の当会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に書面での決議となりました。

令和二年度事業報告・決算、令和三年度事業計画、予算が審議され、異議が無く承認されました。

神宮新穀献米奉納

令和三年十二月十二日に全国氏子青年協議会主催の神宮新穀献米奉納事業に当会からも新穀を奉納させていただきました。

例年は伊勢の神宮に新穀を直接奉納しに向かいますが、本年はコロナ禍ということもあり、郵送での奉納となりました。

来年こそは、神宮を参拝し、大神様の御加護を賜りたいと思います。



甘酒奉仕及び新年正式参拝

大國魂神社氏子崇敬会甘酒事業は大國魂神社氏子崇敬会事業の中でもメインの奉仕事業です。

令和三年度甘酒事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止となりましたが、例年元旦(一月一日、二日、三日)に境内随神門横にテントを張り役員・理事・会員・OBで交代をしながら朝八時から十七時程まで甘酒販売、その横では東京都酒造組合から神社に寄付を頂いたお酒を振舞い酒として振る舞っております。

また震災、災害などで被災した神社に復興支援をするために販売場所にて募金箱を設置し、募金活動もしております。

例年、三日の十八時半には役員・理事・会員・OBにて新年正式参拝を行います。



(神戸 裕太・屋敷分)

茅の輪奉納

茅の輪部会では、例年、六月中旬に茅の輪を制作し奉納しています。

茅の輪とは、千茅を束ねて輪にし、竹の支柱で立たせたものです。その中を、八の字を描くようにくぐる茅の輪くぐりは、年始めから半年の罪穢れを祓い、夏以降の半年を新たな気持ちで迎えるための神事です。

制作に使用する千茅と竹は、活動当初、採取場所を探すのも苦労があったと、当時の役員から聞いておりました。現在では、府中市内の方々のご協力も賜り採取させて頂いております。

当会創設間もない頃から、この茅の輪制作は続いており、コロナ禍で他の事業が中止せざる負えないなかでも、制作を継続しています。

また、制作に携わるメンバーも世代を超えて、その技術を継承し、参加者全員で協力し合い、前年より立派な茅の輪を作れるよう、制作に励んでいます。

茅の輪制作を、今後も何十年、何百年と継続し、大國魂神社を訪れる方々に喜んで頂けるように活動していきたいです。

(加賀谷 竹青・小柳町)



**南相馬 八坂神社参拝・
相馬野馬追観覧**

令和三年度研修部会の活動として、南相馬の八坂神社参拝、相馬野馬追の祭典を観覧致しました。

こちらの八坂神社は、東日本大震災の際に津波で大変な被害のあった南相馬市下渋佐という地域で、十年前にご縁あり、当会で鳥居とお社を寄進した経緯のある神社です。被災した翌年、当時の当会役員、会員の力で復興し、十年の時を経て訪問させて頂きました。津波により、その多くが流されてしまった地域に佇む立派な「地元の神社」再建を果たした事を、当代になっても感慨深い気持ちでした。当時の状況などを地域の人々から説明を受けました。避難地域という特殊な環境下では「社との共存」を改めて考えさせられる研修となりました。
また併せて相馬野馬追（そうまのまおい）を、メイン会場となる



福島県南相馬市「雲雀ヶ原祭場地」（ひばりがはらさいじょうち）にて観覧致しました。
空中に打ち上げられた神旗の争奪戦。炎天下のもと、甲冑を身に付けて駆ける武士の奮闘を観戦しました。
相馬野馬追は一千有余年の昔、相馬氏の祖といわれている平将門が野馬を放ち、敵兵に見立てて軍事訓練を行ったのが始まりと伝えられるもの。
甲冑に身を固めた総勢約四百騎



の騎馬武者が腰に太刀、背に旗指物をつけて疾走する豪華絢爛で勇壮な時代絵巻を繰り広げるといいう行事です。

一時は、野馬追ができなくなる時代もあったそうですが、相馬家の氏神である妙見を祀る相馬三社（相馬太田・小高・中村神社）の祭礼として、今日まで受け継がれています。

研修を通じて、今後も日本各地に伺い歴史や風習を学び、日頃の活動に活かせるような計画をしていきます。

（加賀谷竹青・小柳町）

すもも祭 かき氷販売

二〇一五年よりすもも祭の際に崇敬会として境内にてかき氷販売をしています。

試行錯誤して作ったすもも味のシロップにすももを乗せたかき氷は七月二十日にしか食べられない崇敬会完全オリジナルの限定かき氷となります。

毎年このかき氷を楽しみにしていた方が多く、夕方には完売してしまうくらい人気ができました。

コロナ禍で販売出来なかった期間もありましたが、今年は無事販売することができました。

平日の忙しい中、会員の方々の協力が不可欠な事業となります。

感謝と共に今後ともご協力いただき、すもも祭かき氷事業を盛り上げていければと思っております。

(渡邊 高志・新成区)



忠魂碑清掃奉仕



忠魂碑には大東亜戦争での郷土出征戦没兵士の忠魂が祀られています。

毎年九月二十四日に府中市戦没者慰霊祭が斎行されるにあたり、前日の二十三日に掃き掃除と水洗いを行っています。

忠魂碑は高さ六、五メートルと大きいためには箒やブラシだけではなく高所作業車、高圧洗浄機も使用しての大変な作業になります。今後も慰霊の思いを込めて会員の皆様の御協力のもと継続していききたい大切な事業の一つです。

(遠藤 充・新宿山谷)

令和四年度活動予定

十月 総会

軍艦多摩戦没者

慰霊祭参列

十一月 新嘗祭参列

十二月 全国氏子青年協議会

神宮新穀献米奉納参加

PR活動(甘酒奉仕)

一月三日まで

一月 新年正式参拝

節分祭参列・警護奉仕

二月 祈年祭参列

四月 鎮守の森

子ども相撲大会参加

五月 萬燈大会参加

例大祭参列

六月 茅の輪奉納

大祓式参列

七月 PR活動

(すもも祭奉仕)

八月 八朔相撲祭参加・助成

九月 忠魂碑清掃

府中市戦没者慰霊祭参列

毎月一日・一五日

月次祭参列

奇数月最終日曜日

境内清掃
随時 役員会・理事会

入会のご案内

昔より、武蔵の国の平穏と繁栄をつかさどる、大國魂大神をおまつりする大國魂神社を中心として、青年の力を結集し、神社の伝統ある行事を守り後世に伝える活動、地域の発展・福祉の活動、会員相互の親睦をはかる活動など社会に貢献するために活動しております。多くの青年の方に、伝統文化の継承をしていただきたく呼びかけをしています。

・年会費

一般会員(一名) 二、〇〇〇円

夫婦会員(二名) 三、〇〇〇円

・年齢 十八歳以上

※入会をご希望の方は社務所までお越しいただくか電話にてご連絡下さいますようお願いいたします。

電話：〇四二―三六二―二二三〇

(大國魂神社社務所)